

委託事業実施内容報告書

平成21年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【ボランティアを対象とした実践的研修】

受託団体 八王子国際協会（愛称）地球市民プラザ八王子

1. 事業の趣旨・目的

「生活者としての外国人」にとって「生活に必要な日本語」の習得は不可欠であるが、在住外国人の増加に伴い日本語学習支援者が常に不足しており、「生活としての外国人」に必要な日本語支援を行う日本語学習支援者を増やし、日本語学習支援者の質を高めることを目的とする。

2. 運営委員会開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
5月21日	八王子国際協会 国際交流室	本田 弘之 武田 あき子 清水 久美子	講座内容・日程等確認	自己紹介 講座内容・日程等確認 八王子市広報掲載依頼 ポスター・チラシ確認
9月10日	国際交流室	3名	講座受講者選好	講座受講者選考 受講者名簿作成
12月18日	国際交流室	3名	講座反省会	委員意見交換 実施成果のまとめ 今後について



研修内容について

- (1) 「日本語ボランティアステップアップ講座」
- (2) 研修の目的 質の高い日本語学習支援者を養成する
- (3) 受講者総数 34名
- (4) 開催時間数(回数) 20時間(10回)
- (5) 参加対象者の要件 生活者としての外国人の日本語学習支援をしている方・
八王子国際協会日本語ボランティア入門講座を修了した方(退職者・定年者を
含む)
- (6) 受講者の応募方法
HP(八王子国際協会・八王子市役所)・八王子市広報・ポスター掲示・チラシ配布(八
王子市役所・事務所・図書館・市民センター等公共施設、八王子地域23大学等)・国際協会
会員団体会員へメールでの情報提供
- (7) 研修会場
クリエートホール 第2学習室
- (8) 使用した教材・リソース
各講師作成資料、「初めて教える人のためのなっとく 知っとく初級文法」
「会話教材を作る」「1日10分の発音トレーニング」など
- (9) 講座内容

	日時・曜日・会場	講座内容	担当	参加者数
1	9月25日(土) 10:00~12:00 クリエートホール 第2学習室	初級の文法項目と文型 初級で学ぶべき項目とその学習 順序	杏林大学外国語学部教授 本田 弘之	30名
2	10月3日(土) 10:00~12:00 クリエートホール 第2学習室	文字と語彙の学習 初級で学ぶべき項目とその選択	杏林大学外国語学部教授 本田 弘之	30名
3	10月23日(土) 10:00~12:00 クリエートホール 第2学習室	文型と機能を教える1 文型モデルと例文	杏林大学外国語学部講師 荒川 みどり	27名
4	10月30日(土) 10:00~12:00 クリエートホール 第2学習室	文型と機能を教える2 使用場面を考える	杏林大学外国語学部講師 荒川 みどり	25名
5	11月6日(土) 10:00~12:00 クリエートホール 第2学習室	会話とコミュニケーション1 日本人のコミュニケーション行 動	杏林大学外国語学部教授 本田 弘之	30名
6	11月13日(土) 10:00~12:00 クリエートホール 第2学習室	会話とコミュニケーション2 会話を作っていく技術	杏林大学外国語学部教授 本田 弘之	28名
7	11月27日(土) 10:00~12:00 クリエートホール 第2学習室	発音・聴解指導の実際1 音声学の知識を実践に	杏林大学外国語学部講師 嵐 洋子	27名
8	12月4日(土) 10:00~12:00 クリエートホール 第2学習室	初級者から中級へ 学習者の生活とニーズ	杏林大学外国語学部教授 本田 弘之	24名

9	12月11日(土) 10:00~12:00 クリエートホール 第7学習室	発音・聴解指導の実際2 学習者の母語と発音矯正	杏林大学外国語学部講師 嵐 洋子	27名
10	12月18日(土) 10:00~12:00 クリエートホール 第2学習室	中級から上級へ 自ら学んでいくために	杏林大学外国語学部教授 本田 弘之	32名

(10) 講座の評価

受講生に対するアンケート

1. 講座全体の内容はいかがでしたか。

- a. とても良かった 22 b. 良かった 5
c. あまり良くなかった 1 d. 良くなかった 0
e. 不明 1

2. 講座へのご意見・ご感想をお願いいたします。

- ・とても有意義な講座だった。2回欠席しとても残念だ
- ・外国人の方の日常目線が少し理解できた。文化の違いは沢山の人が理解しようとしているが、それが言葉にどうかかわっているか今まで考える機会がなかった。
- ・授業はとても解りやすく、面白かった。全体的には難しかった。
- ・今まで知らなかったことを知ることができて、良かった。
- ・楽しく受講できた。日本語を再確認した。
- ・空気のように使っていた日本語がこんなに難しいと分かった。楽しくおもしろく新鮮だった。
- ・初めての経験で有益だった。
- ・今後の日本語教育の参考になった。
- ・日本語教育の各分野の専門家から実体験に基づく具体的で実践的な日本語の教え方を伺う機会を得られて、大変良かった。
- ・ユーモアや体験談を交えて楽しい講座だった。紹介していただいた本を読んでみようと思う。
- ・毎週参加するのが楽しみだった。ときどきポロっと出る本音の話に同意するべきことが多かったからだと思う。
- ・ボランティアということで難しく考えていたが、今回の講座を受けて堅苦しく考えず楽しくお手伝いをしていけるかなと自信がついた。又、機会があればぜひ参加したい。
- ・教える基本は人間性が最も大切であり、適性があると教えられた。教える人と教えられる人の間に相互に好意を持つことが知識や教授法以上に大切であろうと思う。まず、友達になることから始めたい。
- ・実践的だった。すぐ授業に使える
- ・自己流で日本語を教えた経験はあるが、基本を教えていただき、ためになった。教えることは学ぶことだと思った。
- ・一回一回の講座にかける先生方の意気込みを感じられてうれしかった。ボランティアはただ知識があればいいというのではないので、難しいが、これからも少しずつ続けていきたい。
- ・日本語の奥深さを知った。専門の先生が解りやすく講義をして下さって感謝している。なぜ日本歩ボランティアが必要なのか、日本の未来を考えて、日本語教育の在り方を興味深く話されて、10回の講座があつという間に終わってしまった。終わってしまうのが残念に思うくらい楽しかった。
- ・初級の方への文型の作り方、中級の方への新聞記事の読み方の講座はたいへん参考になった。
- ・熱心に教えていただいて感謝している。ボランティア活動は奥が深い。今日伺った国の方針もとても参考になり面白かった。ボランティアをすることで自分が成長していくことと同感で、更にステップアップしてマイペースでやっていける勇気が出てきた。
- ・日本語ボランティアをすることの意義についてとても興味深うかがった。自分の興味と日本にやってきた人に少しでも楽しい思いをしてもらおうと活動していたが、目を見開かされた思いがした。
- ・自分の日本語が不安になり、教えられるか心配
- ・教えることの難しさを感じるようになった。
- ・受講者の意見を述べる機会を増やす。

- ・授業の様子をビデオなどで紹介して、効果的な教え方が解るようにしてほしい
- ・座談会を講座終了後に
- ・文法などをもっと高度なものを希望
- ・講師の講義ばかりでなく、受講者サイドからこんな風に自分はボランティアをしている、あるいはこんな風に教えるのはどうか…など実践につながる時間を設けてほしかった。他の人と横のつながりがないのは残念
- ・知識を身につけるという意味では良かった。ただ、『気楽に』といっても実際に日本語を教えたことのない人がどうやって教えたらということだと思う。学習者のニーズやレベルによるので、難しいと思うが、ロールプレイングや実際の学習中の現場の見学などといったものも取り入れられたら更に良くなるのではないか。

3. 回数はいかがでしたか。

a. 10回でいい **24**

b. 多いほうがいい **2** (20回/多数) c. 少ないほうがいい **2** (5回/8回)

4. 今後 (複数回答)

- a. 日本語ボランティアをしたい **21**
- b. 学習支援ボランティアをしたい **10**
- c. 上記以外のボランティアをしたい **3**
- d. 考えていない **0**
- e. 不明 **3**

5. 今後 取り上げて欲しい講座内容をお書きください。

- ・学習支援について
- ・実習を取り入れた研修
- ・音声イントネーション
- ・文法と発音
- ・初級のコース

6. 第3・4回講座(文型と機能を教える1・2)へのご意見・ご感想をお願いいたします。

- ・機能について改めて納得できた。
- ・いつも使っている言葉を系統的に教えていただけた。
- ・色々な方面からの説明で楽しく参加できた。
- ・例文作成は非常に参考になった。
- ・文型の大切さが良くわかりましたが、考えるのは大変だ。
- ・エクササイズが充実していて、自分の頭で考える機会が多くて良かった。他の方の考えも参考になった。宿題、授業で提出したものを後日送って下さるそうで、フォローアップもしっかりしているという印象だった。
- ・わかりやすく、面白かった。
- ・例文をいくつか出していただいたり、自分で作ってみたりするのが良いと思った。
- ・やさしくわかりやすく伝える難しさを実感した。
- ・具体的な事例によるご説明でとても参考になった。日本語を教えるポイントがつかめたような気がする。
- ・3回目の講座を休んでしまって、残念！
- ・教える側としては文型シラバスの方が焦点が絞れるので、扱いやすい。機能シラバスの場合は学習者のニーズにあった共通項を探すのが難しいと思う。
- ・講義はかなり難しかったが、今後役に立つヒントをいただいた。
- ・日頃何気なく使っている日本語を論理的に考えることがとても難しかった。質問されている意味が良くわからない時もある、もう少し基本を勉強することが必要だと思った。
- ・意味のわからない専門用語を使っただけの説明があり、内容が理解できないことがあった。
- ・参加者に直に質問されるが、質問の意味が解らず、どんどん進むので、理解できないまま過ぎてしまい、ついていけない時があった。

7. 第7・9回講座(発音・聴解指導の実際1・2)へのご意見・ご感想をお願いいたします。

- ・日常の中で発音やアクセントにたいしてあまり意識を持っていなかったが、今後は意識を持って生活しそれを指導に反映させていきたい。

- ・各国別のアクセント・音声の違いは非常に参考になった。母国語の影響もあり、誤りやすい間違いが系統的に学べるのは今後ボランティアをするうえで役に立つ。
 - ・日常生活で意識していないことが日本語学習者に伝える際にとても重要だということがわかった。
 - ・外国人の人が日本語の発音をどういうふうに聞き、実際に発音するのかがわかって、勉強になった。
 - ・母語の特徴が日本語学習の際にどのような影響を与えるかがわかった。
- 指導法についての指摘も有効だった。
- ・発音の違いによる感情的評価は何となく感ずることはあっても はっきりと自覚していなかったもので、良かった。
 - ・わかりやすく、面白かった。
 - ・発音の直し方がわかり、参考になった。アクセントは日本人でも難しいのがよくわかった。
 - ・自分の発音を考えるきっかけになった。
 - ・日本語の音・アクセントなど奥深さが学べてよかった。短い時間でわかりやすくまとめられていた。
 - ・平易に教えていただきその中でもポイントを漏らさない、わかりやすい指導だった。
 - ・諸外国の特徴がわかり、良かった。諸外国のアルファベットくらいは勉強してみようと思う。
 - ・講座を1回休んでしまったことが非常に残念でした。
 - ・お勧めの教材を教えていただき、助かった。
 - ・音声は難しいと思っていたが、楽しかった。
 - ・今まで知らなかったことなどを知ることができた。
 - ・また機会があったら参加したい。
 - ・先生の柔らかい口調が大変良かった。
 - ・実際的で「ステップアップ講座」にふさわしかった。
 - ・音声を使った具体的な例をグループエクササイズを通して楽しく学べてよかった。ただ、「音声」ということもあり、設備上の限界も少々感じました。
 - ・アクセントの指摘。指導は非常に難しいと感じた。
 - ・例題、例文がもっとほしかった。日常無意識に使っている日本語の修正にもなるので

8. 実施主体からの研修内容結果評価

- ・地域日本語学習支援ボランティアとその必要性について研修ができた。
- ・日本の外国人政策における地域日本語教室ついてなど日本語ボランティアを取り巻く状況についても研修できた。
- ・八王子で生活する外国人にとって必要な語彙集め・例文作成・発音指導・新聞を使った学習の仕方などより具体的に実践的な研修ができた。
- ・八王子で生活する外国人にとって必要な日本語語彙を集め語彙集を作成することができた。
- ・日本語ボランティアの活動に参考になる書籍を紹介できた。
- ・日本語ボランティアの難しさも感じてもらえた。
- ・日本語ボランティアだけでなく、外国人とのかかわり方、人と人のかかわり方について参考にしてもらえた。
- ・在住外国人の状況を知り、理解し、できるところからボランティアに取り組もうという気持ちを持ってもらえた。
- ・9月から12月までの長期間だったが、34名のうち25名が80%以上出席した。
- ・受講された方は協会団体会員が主催する日本語ボランティア教室に積極的に見学に行かれたり、他の研修会に参加されたり、日本語教育能力試験のために勉強を始めた方もいた。
- ・協会団体会員が主催する日本語ボランティア教室や、当協会が実施している「外国にルーツを持つ児童・生徒の学習支援事業」に参加された方もいた。
- ・ビデオなどの使い方に工夫が必要だった。
- ・講座の中で実習をしたほうがよかった。

(10)今後の計画

- ・2011年1～3月に外国人ボランティアに参加してもらい、講座で学習した会話・語彙・新聞を読む・発音練習の4項目についての実習を計画している。述べ19名の参加予定
- ・作成した八王子で生活する外国人にとって必要な日本語語彙を充実させる
- ・講座で紹介した書籍を受講者に貸出
- ・次年度も入門講座・ステップアップ講座を開き日本語ボランティアを養成

- ・八王子国際協会主催の日本語ボランティア教室を開催し、活動の場を提供

(11)事業の成果

1・他事業との連帯

- ・協会団体会員が主催する日本語ボランティア教室の紹介
- ・八王子国際協会の「外国にルーツを持つ児童・生徒の学習支援教室」のボランティア及びそのための研修会への参加を呼びかけた。

2・研修後の人材活用

- ・協会団体会員が主催する日本語ボランティア教室に参加
- ・地域日本語ボランティア教室に参加
- ・八王子国際協会でのボランティア活動に参加
- ・八王子国際協会の「外国にルーツを持つ児童・生徒の学習支援事業」に参加

(12)今後の課題

- ・質の高い日本語ボランティアの養成講座の継続
- ・日本語ボランティアによる日本語ボランティア養成講座企画・運営
- ・外国人日本語ボランティアの養成と地域日本語教室での役割
- ・外国にルーツを持つ児童・生徒の日本語支援のための研修会実施
- ・地域の日本語ボランティア活動の継続と支援
- ・地域大学等の日本語教育機関、行政機関との連帯活動
- ・魅力ある日本語ボランティアコミュニティー作り
- ・文化庁による今回のような委託事業の実施依頼

文化庁平成22年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

日本語ボランティア

ステップアップ講座

～日本語ボランティア実践的研修～

あなたの隣に暮らす外国の方と多文化共生社会を目指して、外国人と日本人が共に参加できる日本語学習の手法と地域日本語教室での活動の進め方などを考えます。

講座無料

対象＝日本語ボランティア活動をしている方
日本語文法など基礎学習を終えられた方
(講座には国際協会会員となつて。
ご参加くださいますようお願いします。)

日時＝平成22年9月25日 10月2・23・30日
11月6・13・27日 12月4・11・18日
午前10:00～12:00(全 土曜日 10回)

会場＝クリエートホール 第2学習室

定員＝約20名(応募者多数の場合抽選)

申し込み方法 ＝ 往復ハガキに「日本語ステップアップ」と
日本語ボランティア経験の有・無(ある場合は経験年数、所属団
体)、住所・氏名(ふりがな)、電話番号、返信面の宛名を書いて、9
月10日(必着)までに下記にお申し込みください。

申し込み・お問い合わせ：八王子国際協会

〒192-0083 旭町9-1 八王子スクエアビル11F

TEL・FAX：042-642-7091 E-mail：koko-8@nifty.com



内容及び教授者



	日時・曜日	講座内容	担当
1	9 月 25 日(土)	初級の文法項目と文型 初級で学ぶべき項目とその学習順序	杏林大学外国語学部教授 本田弘之
2	10 月 2 日(土)	文字と語彙の学習 初級で学ぶべき項目とその選択法	本田弘之
3	10 月 23 日(土)	文型と機能を教える 1 文型モデルと例文	杏林大学外国語学部講師 荒川みどり
4	10 月 30 日(土)	文型と機能を教える 2 使用場面を考える	荒川みどり
5	11 月 6 日(土)	会話とコミュニケーション 1 日本人のコミュニケーション行動	本田弘之
6	11 月 13 日(土)	会話とコミュニケーション 2 会話をつくっていく技術	本田弘之
7	11 月 27 日(土)	発音・聴解指導の実際 1 音声学の知識を実践に	杏林大学外国語学部講師 嵐 洋子
8	12 月 4 日(土)	初級から中級へ 学習者の生活と日本語のニーズ	本田弘之
9	12 月 11 日(土)	発音・聴解指導の実際2 学習者の母語と発音矯正	嵐 洋子
10	12 月 18 日(土)	中級から上級へ 自ら学んでいくために	本田弘之